学校番号	1011

令和８年度　学ネイチャーテクノロジー

教科	学ﾈｲﾁｬｰﾃｸﾉﾛｼﾞｰ	科目	(学)健康と食品	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

５大栄養素から始まり、食品衛生、食品生理学、感染症、公衆衛生学などの分野を１年に渡って学習する。また実際の食品を原料から作る実験などを行い、身の回りの食品がどのように体に作用するのかなどの基礎的知識理解を定着させる。

2　学習の到達目標

1. 健康･食品について理解する。
2. ヒトの体についての観察、実験や課題研究などを行い、ヒトの体に対する関心や探究心を高めている。
3. 健康と食品についての正しい知識を身につけ、自分の食生活を見直している。
4. 現在及び将来における健康問題との関わりについて考察し、健康問題などへの理解を深めようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	健康と食品とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。	健康・食品の問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。	健康・食品に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。 ヒトの体の原理・法則や科学技術の発展と人間生活とのかかわりに対する興味・関心を高めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	栄養学概論	1. 栄養学 2. 人体の構成成分 3. 食生活指針 4. 適正体重	a: ３大栄養素・微量栄養素など、栄養素について得た知識を、人体の構成成分や人間生活と関連づけて理解できる。 b: 栄養とヒトの体との関係などについて、実験を通して考察し、表現することができる。また、人体の構成成分をもとに、自らの食生活との関わりについて思考し、総合的に判断することができる。 c: 健康が、栄養・食生活のバランスなど、様々な面と関わっていることに関心を持ち、意欲的に学習しようとする。健康が関わっているヒトの行動やヒトの体の構造と働きについて関心を持ち、意欲的に学習しようとする。	定期テスト 確認テスト 振り返りシート	定期テスト 確認テスト 振り返りシート 観察・実験 レポート	振り返りシート 提出ノート 観察・実験 レポート
	栄養素のはたらき	1. 炭水化物 2. タンパク質 3. 脂質 4. 無機物 5. ビタミン	a: ５大栄養素の構造やはたらきを知り、ヒトに与える影響を理解できる。 b: ５大栄養素がヒトの体をどのように作るのかを、自らの体や経験などから総合的に判断して考察し、表現することができる。 c: それぞれの栄養素が含まれる食品などの身近な食品とヒトの体における影響について関心を持ち、意欲的に調べようとする。	定期テスト 確認テスト 振り返りシート	定期テスト 確認テスト 振り返りシート	振り返りシート 提出ノート

2学期	食品学	1. 植物性食品の分類 2. 植物性食品の特徴 3. 動物性食品の分類 4. 動物性食品の特徴	a：植物性食品や動物性食品の分類とその特徴について理解し、健康とヒトに与える影響を理解できる。 b：植物性食品や動物性食品の分類とその特徴を科学的に分析して、総合的に判断し、それを表現することができる。 c：身近な植物性食品や動物性食品に関心を持ち、意欲的に調べようとする。	定期テスト 確認テスト 振り返りシート	定期テスト 確認テスト 振り返りシート 観察・実験 レポート	振り返りシート 提出ノート 観察・実験 レポート
	栄養生理学	1. 食品の摂取行動 2. 味覚と栄養感覚 3. 局所性の栄養感覚 4. 成長期の栄養 5. 食事療法 6. 食品添加物	a：味覚や栄養感覚について理解し、成長期の栄養や食事療法、食品添加物などその応用において様々な知識を理解できる。 b：味覚や栄養感覚がヒトに与える影響について科学的に分析し総合的に判断し、それを表現することができる。 c：味覚や食品添加物など身近な食品におけるヒトの体への影響に関心を持ち、意欲的に調べようとする。	定期テスト 確認テスト 振り返りシート	定期テスト 確認テスト 振り返りシート 発表	振り返りシート 提出ノート 発表
3学期	公衆衛生学	1. 感染症 2. 生活習慣病	a：それぞれの感染症の特徴を把握し、安全で快適な生活のための生活法を理解することができる。 b：身近にある感染症が日常生活の中でどのように影響があるかを考え、表現することができる。 c：感染症や生活習慣病など私たちの生活に関係ある病気について、どのように予防できるかを学び、さらによりよい生活のために改良すべき点はないかを意欲的に学習しようとする。	定期テスト 確認テスト 振り返りシート	定期テスト 確認テスト 振り返りシート	振り返りシート 提出ノート

	食品衛生学	1. 食品衛生 2. 微生物の分類 3. 微生物の特徴 4.食中毒の分類 5.食中毒の特徴 6.寄生虫	a: 食品衛生や微生物・食中毒についてそれぞれの性質を把握し理解できる。またその影響や症状の違いから生ずるヒトへの影響の違いを理解し、それぞれの性質を見極めて日常生活に適切に利用できる。 b: 食品の衛生がヒトにどのような役割を果たしているか観察・実験を通して総合的に判断し、表現することができる。食中毒と寄生虫の性質の違いによるヒトへの影響の違いなどを的確に考察することができる。 c: 身近な食品の衛生管理や、食中毒の性質を追求し、生命の維持と快適な生活にこれらの生物がどのように利用されているか関心を持ち、意欲的に学習しようとする。	定期テスト 確認テスト 振り返りシート	定期テスト 確認テスト 振り返りシート 観察・実験 レポート	振り返りシート 提出ノート 観察・実験 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度